



子育て支援センター

「ひまわりのたぬ」だより

【問合先】子育て支援課 子育て支援係 ☎65-0081



梅野よしみ 保育士

いやだいやだ”は成長のサインー

遊びに来ている2～3歳になります。

赤ちゃんの時から来ている子も、多く、ぐずり出した子にお母さんは、「おっぱいかな？おむつかな？眠いのかな？」と声をかけていましたが、自分の思いが通らず泣いている時には「どうした？何が嫌なの？」の問いかけに変わっていきます。子どもは言葉も増えて、何とか自分の気持ちを伝えようとしています。この経験の積み重ねで自我が育つので大切にやり取りですね。お母さんは「そうね」と分かるよ。でも順番だから待つてね」などと話しますが、子どもの「いやだ！」は続きます。その中で自分の言っていることは

無茶だとも分かっているようですが、泣きながらその場を離れ戻つて來ると今まで泣いていたのは?と思うほどいつものように遊び始めます。自分の気持ちに折り合いくつけてきたのでしょう。

先日、もうすぐ3歳の子のいやいやが始まる、そばで見ていた子が急いで本立てから1冊の本を持つて来て「読んでやつて！」といふように私に渡しました。『いやだ』の絵本でした。ぐずつていた時に読んだのを覚えていたようです。

こうして子どもの成長していく姿を、お母さんと楽しんでいます。そしてこの楽しみが私たちの元気の素になっています。



「ただいま活躍中！」